

寛保	二二七四二	八、	大風雨、洪水。	
宝曆	一三二七六三	九、三	大洪水	
明和	八一七七七	二、二五	大雪、風雨、洪水、民居破損す。	
安永	元一七七二	八、二	大洪水、田畑六〇〇町余水にひたる。	
	四二七七五	八、一五	洪水	
	六一七七七	六、二三	陸羽・下総洪水、享保八年の大洪水より、所によつて満水。大川氾濫最も甚える	
	八一七七九	八、二四	東海・北陸洪水、会津にても洪水あり。	
天明	元一七八一	五、一七	津軽大洪水、南山及び越後の預り地五月十七日被害最も苦し。	
	五一七八五	八、一二	東海、諸国大雨洪水、奥羽飢饉（天明三―天明五）	
	六一七八六	四、二九	大洪水、封内の諸水堤塘をこわし民家を流し、田圃を損ずる。	会津の洪水に關しては不明
文化	五一八〇八	六、一六	東北の地大雨洪水あり、七月二十五日、八月五日東北諸国大雨洪水あり。	
天保	元一八三〇	八、二七	大暴風雨熱塩村山崩れ、大塩・姥堂以下、耶麻郡の諸川甚し。	
文政	二二八五五	六、一九	大暴風雨、大川洪水。	
明治	八一八七五	七、九	午後一時頃より大暴風雨、午後七時頃長瀬川大洪水、増水一丈四、五尺、名家・種ノ口・白木城・渋谷の田畑家流る。	会津郷土史
	九一八七六		福島県下水旱雨災にかかり困窮す。	
	一〇一八七七		早魃・虫害・洪水の災あり。	
	一一一八七八	七、六	長瀬川平水より増すこと一丈余、名家分家一つ押流す。	耶麻郡誌
	一二一八七九	七、一一	種ノ口、白木城家屋浸す。	明
		七、一一	越後、磐城の洪水、七月十二日は陸前陸中洪水。	会津の被害は不明